

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北関東)		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新生活に向けて、学生などがアルバイトを退職し、新人が入ってきている。
		その他小売 〔ショッピングセンター〕（統括）	来客数の動き	・前年末～1月末にかけて、過去最大規模の改装セールを行った。春のグランドオープンに向けて、プレスリリースを2回発信済みである。改装セールそのものに加え、新店舗導入のアナウンスが地元の大きな話題となっている。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・メディアなどで取り上げられているとおり、50代以上の「大人女子」が元気に来店してくれ、単価も上がっている。
		通信会社（局長）	来客数の動き	・周りに工業団地や農家が多く、景気自体は良くなると思うが、深刻な人手不足もあり、大きく変わることはない。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・年始の日並びに加え、例年に比べて降雪がなく穏やかな天候に恵まれたことから、例年を大きく上回る来園者数となっている。
		ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・1月7日からクローズ期間となり、本年6日間の来場者実績数は314名である。前年は99名で、前年比プラス215名と天候にも恵まれ増加している。クローズ期間中の2月の来場者は例年どおりゼロである。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・一時的かもしれないが、公共工事の増加により建設業界は活気づいている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・晴天が続き、人の動きが活発化して高齢者の外出する日も多く見られるものの、消費には結び付いていない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・新年になり、落ち着いた生活が始まったが、生鮮の目玉商材の最たる卵、寒卵の低価格が続いている。豚肉も同様である。家庭は助かるが、生産者は厳しい。寒波の襲来で、客の動きが悪い。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・初商是好調であったものの、中盤以降、鈍化している。特に、婦人衣料の不振が継続しており、不調の主な要因となっている。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・買上単価はほぼ前年並みであるが、来客数は連続して前年を下回っている。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・12～1月と衣料品を中心に、前年に比べて売上が非常に悪い。食料品だけは数値が良く、衣料品と住居用品は苦戦している。本当に必要な物しか買わない傾向が続いている。
		スーパー（商品部担当）	販売量の動き	・降雪量が少なく、青果物、鶏卵などの価格下落はあるものの、販売、買上点数に落ち込みはなく、前年を維持できている状態に変化はない。
		自動車備品販売店（経営者）	単価の動き	・販売量は決して悪くはないものの、特に目立って良い、悪いという特色が出ていない。
		その他専門店 〔靴小売業〕（経営者）	単価の動き	・天候の影響が大きい月で、ブーツ等の季節商材が売れず、苦戦している。
		その他専門店 〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・販売量は堅調に推移しており、状況も特に変わりはない。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月前半は客入りが良く、好調であったが、中旬以降停滞し始めている。気温や風など天候の影響もあるかもしれないが、正月気分が抜けるとともに、財布のひもが固くなっているようである。	
	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・販売量の動きは、例年1月の年始は稼働がぐっと落ちるので、その影響が出ている。3つのホテルの稼働率は60%程度である。3か月前と比べて、稼働率は落ちているが、ほぼ例年の動きと変わらない。	
	都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・1月は客室メンテナンスのため、一部で売り止めが発生したが、インバウンドやインターネット経由の個人予約が好調に動き、気付けば、例年以上の売上を記録している。	

都市型ホテル (営業)	来客数の動き	・1月は宴会、宿泊共に、客の動きから目標達成は厳しい状況にある。ただし、前年実績は上回る予定である。
旅行代理店(経営者)	単価の動き	・宿泊の高額商材に在庫が目立っている。安価な商材はよく売れる。
旅行代理店(所長)	来客数の動き	・新春も穏やかな天候で、また、スキー場付近では4年ぶりにシーズンオープンに間に合う降雪もあり、おおむね順調な新年のスタートを切ることができている。
通信会社(営業担当)	販売量の動き	・不動産関連の分譲物件の売れ残りや戸建て販売数の動きなどからみて、変わらない。
競輪場(職員)	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、ほぼ前年同様の実績である。
設計事務所(所長)	お客様の様子	・客の問合せ等も特に変動はない。
住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・今月は幾らか賃貸アパートへの問合せが増えてきている。もっとも、新入学で3月くらいから移動の始まる時期だと思っている。中古住宅も安い物件は引き合いがあるものの、なかなか価格的に折り合わないようで、依然としてデフレが続いているような感じである。
一般小売店[衣料](経営者)	販売量の動き	・毎日天候は良いが、なかなか客は来ない。観光客も結構来ているが、店には寄ってくれない。
百貨店(営業担当)	来客数の動き	・前年1月は大雪があったにもかかわらず、それと比べて今月の来客数が落ちている。イベント時は集客があるものの、それ以外は極端に落ちてしまう。1か月を通しての集客が年々難しくなっている。
百貨店(副店長)	販売量の動き	・食料品や催事は好調だが、ファッションアイテム等の動きが鈍くなってきている。
コンビニ(経営者)	来客数の動き	・景気の悪化で、来客数の動きが悪くなっている。
コンビニ(経営者)	お客様の様子	・12月までは前年比プラス3%だったが、1月は前年比96%で推移しており、急激な悪化傾向である。特売イベント等の集客も良くない。
家電量販店(店長)	来客数の動き	・来客数、単価共に前年と比べて減少している。
乗用車販売店(経営者)	お客様の様子	・当地の自動車産業は、今までリコールなどの問題はあったものの、輸出などに支えられて生産量は微減で済んできていた。しかし、ここへきて主要部品の1つに問題が生じ、生産がストップしてしまっている。すぐに再開できそうだが、下請企業も含めて、活気が少しダウンしている。
乗用車販売店(販売担当)	販売量の動き	・新車、中古車共に、輸入車、国産車も含めて、12月までにほとんど売ってしまったのかもしれないが、今月に入って極端に販売量が減っている。車検でも、1社で何台も保有している客が、必要ないということで逆に減車している状態である。今年に入って、修理、販売部門共に極端に落ち込んでいる。
住関連専門店(仕入担当)	来客数の動き	・月初は天候にも恵まれ、来客数増加がみられたが、中旬からは前年と比べてマイナスが続いている。前年は、冷え込みや降雪による特需があったことが、主要因である。
一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・年末年始が終わり、通常に来客数が、少しずつ減少している。
スナック(経営者)	来客数の動き	・翌日の体への酒の残りを懸念して、平日の来店客が減っている。
その他飲食[給食・レストラン](総務)	お客様の様子	・当社が社員食堂の受託をしている取引先で、中国での販売減少の影響から業績を下方修正する企業が出てきている。食数等にすぐに影響は出てはいないものの、景気下押し材料となってきている。
観光型ホテル(経営者)	来客数の動き	・前年と比べると良くなっているが、3か月前との比較だと悪くなっている。
タクシー運転手	お客様の様子	・例年1月は新年会等で動く時期だが、今年は乗務員不足で車の数が少ない割には、売上は余り変わっていない。新年会をやらない会社も多く、若い人は飲み会等に参加しないそうである。

	タクシー（経営者）	お客様の様子	・全体的に動きが悪く、前年同月と比べて7%の減少である。
	タクシー（役員）	お客様の様子	・人手不足である。
	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・11月から販売減少が続いている。修理件数が増えており、壊れても買換えずに修理して使う客が増えている。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・正月連休に加えて営業日数が少ないために、苦戦を強いられている。政府が旗振りを進める、「働き方改革」の労働時間短縮は、雇用する側にとって収入減と直結するばかりか、やり残しの仕事は誰かが処理しなければならず、管理職の負担となる。
	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・年末年始の顧客動向は予想どおり低調で、前年を10%割る状態が続いている。
×	衣料品専門店 （販売担当）	来客数の動き	・年明け早々から全くと言ってよいほど、客足が止まっている。寒いせいもあるが、それだけではない。本当に人が動いてきておらず、かなり悪い。
×	通信会社（経営者）	販売量の動き	・年末から年度末に向かって、不景気でも本来は売上が伸びる時期だが、いささかの伸びしろもみえない。
×	住宅販売会社 （経営者）	販売量の動き	・12月の消費税増税の還元対策発表後、急に販売が冷え込んでおり、買い控えが始まっている。
企業 動向 関連 (北関東)	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここ半年間くらい、前年同月比で売上は10%以上伸びている。受注状況をもて、急に落ちるようなことは今のところない。10月の消費税増税が多少、気掛かりである。
	その他製造業 〔環境機器〕 （経営者）	受注量や販売量の動き	・当社業務の3本柱の1つであるフロン回収機が、法制化の強化の動きで、受注残が大幅に伸びている。もう1つの柱であるスプレー缶処理装置は、スプレー缶爆発事故の影響で、問合せが多数ある。
	金属製品製造業 （経営者）	受注量や販売量の動き	・最近の売上は、通常より2割くらい多くなっており、その分利益も上がっている。
	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事中心で売上の95%を占めている。現政権誕生後、公共工事は順調に推移しており、建設業を営む企業としては大変有り難いことである。前政権時には、「コンクリートから人へ」のキャッチフレーズで大変だった。最近の首長選挙も野党から与党推薦の知事が誕生した。今の国会を見ていると現政権一強政治に疑問を持つこともあるが、野党もしっかりした政策をもう少しアピールしてほしい。今期公共工事は前年比18%増と順調であり、当社も前期比10%増となっている。今後もこのまま推進してくれれば有り難い。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、商談件数、受注量、いずれも増加している。
	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が落ち込むと予想していたが、微増傾向になり安どしている。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上目標を達成している。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・この2～3か月は、受注量、取引先共に余り変わっていない。1月は若干落ちているような感じはある。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車の北米向け販売が85か月連続で前年超えとなっているが、一連の自動車メーカーの不正検査問題により、国内販売及び生産は前月と横ばいで変わらない。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・1月に入り、インターネット通販向けの新生活用品、白物家電、オーブントースターや電子レンジ等、テーブル、ベッドなどのインテリア用品の物量が増えているものの、全体的には前年並みの輸送量である。燃料価格の高騰もあり、利益自体は薄くなっている。

	不動産業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・人件費上昇などで、取引先に値上げ要請をしているものの、応諾してもらえないところはない。当社のコスト削減分で、現状維持がやっとである。売上維持、増加のため新規受注先も開拓しているが、なかなか成果が出ない。	
	司法書士	受注量や販売量の動き	・ここ数年間は数%の上下で、ほとんど変わらない。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・半導体などの輸出製品が、低調になってきている。	
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上が前年4月以来、最低である。	
	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・新年の挨拶まわりで多くの取引先を回ったが、業種により明確な違いが出てきている。油圧建機や自動車関連は引き続き好調を維持する一方、ロボット等の製造設備関連業界には陰りが出ている。米中貿易戦争の影響が顕著に出ているようである。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・年明けから非常に動きが悪い。	
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・住宅や結婚式場等の集客イベント件数が、例年より少ない。	
	経営コンサルタント	それ以外	・正月の月としては、商業施設や観光地などへの人出はそれほどではなく、新年の消費は食料品、飲食などを始め、全般に盛り上がりには乏しい。企業の設備投資も慎重で、下請企業や物流関連の繁忙感も、せいぜい例年並みというところである。	
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の主力製品の生産量に伸びがなく、当社の受注も芳しくない。
雇用 関連 (北関東)		-	-	-
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今月は小売、サービスのなかでは衣料品、食料品、飲食店のスタッフ募集が多くみられている。製造業はごく一部の食品製造等、介護職、看護職の募集は依然として多くみられ、幾分は良い状態である。
		人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・周辺企業は忙しそうだが、1か月が終わってみると売上に余り動きがない。なぜかは分からない。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・正社員希望の求職者は多いが、職歴等で採用側の条件を満たさず、転職活動が長期化している。その結果、転職先が見つかるまで派遣就業するという流れは変わらない。
		人材派遣会社（管理担当）	周辺企業の様子	・中国の影響で自動車関連は生産調整となり、派遣が減少している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・ここ3か月の新規求人数及び有効求人数は、前年比で新規求人数が2.3%増加、有効求人数は同0.9%増となっており、ほぼ変わらない。新規求職者は、高齢者の割合が増加傾向にあるためか、フルタイム希望者は減少傾向でパートタイム希望者が増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前と比べて、新規求人数は50.4%増加、有効求人数は14.2%増加となっている。有効求人倍率は、0.31ポイント増加し、2.51倍となった。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・今までみられたような求人数の大幅な動きが余りなかったため、今後も余り変わらないのではないかと。
		学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・求人数は前年並みの数がか来ている。また、県内の内定率が近年最高であるという新聞記事からも、多くの企業で例年以上の採用及び採用計画があることが分かる。
		*	*	*
×	*	*	*	